



舞洲  
エリア  
MAISHIMA  
area

舞洲エリア

- セレッソスポーツパーク舞洲
- おおきにアリーナ舞洲
- 杉本商事パフファローズスタジアム舞洲
- 大阪シティ信用金庫スタジアム

咲洲エリア

- ATC (アジア太平洋トレードセンター)
- 5G X LAB OSAKA (TEQS 内)

※イメージ図です。

# 実証実験で事業を前へ!

IoTやロボットテクノロジーの実証実験の内容に合わせて、複合商業施設ATCや舞洲のスポーツ施設、5G X LAB OSAKA の5G 通信環境などのフィールドの提供やマッチングなど事業化に必要な支援を提供します。

咲洲  
エリア  
SAKISHIMA  
area

ATC (アジア太平洋トレードセンター)

- 店舗空間 (約70店舗)
- 公共空間 (屋外・屋内)
- オフィス空間
- バックヤード (物流センター、セキュリティシステム等)
- 展示施設 (介護福祉分野、環境分野)
- イベントホール

● その他注意事項

- ※ 事業化を前提とした事業・プロジェクトが対象となります。
- ※ 実証実験の内容や調整の状況によって、実施できない場合があります。
- ※ 入居テナントでの実験は、入居テナントの了承を得られた場合のみ可能です。
- ※ 実証実験の実施にあたり、協定書を締結していただきます。

● 費用

原則、場所の提供は無料

- ※ 実施に要する費用 (施設などの使用に伴う光熱費および警備費、清掃費など) は、実験実施者の負担となります。
- ※ 実験施設が有料で貸し出している施設を利用する場合は、使用にあたって費用が発生する場合があります。

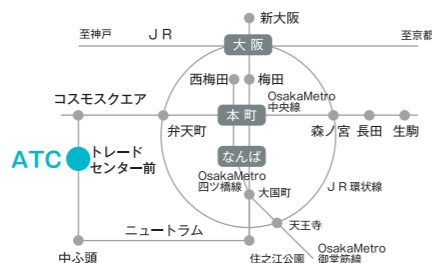
5G X LAB  
OSAKA

- IoTやロボットテクノロジーを活用した新たな製品やサービスの、実際の利用シーンに近い環境やサービス提供の場所で、想定する性能や効果を発揮できるかどうかを検証するもの。
- 分野は特に問わないが、各施設で実施可能なもの。
- 倫理・法律に反しないもの。

お問い合わせ:  
ソフト産業プラザ TEQS (公益財団法人 大阪産業局)  
大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ITM 棟 6階  
TEL.06-6615-1000

<https://teqs.jp/experimentation>

※ 本事業はテクノロジー・ビジネス 実証実験支援プログラム「AIDOR エクスぺリメンテーション」の一環として実施しています。



電車 (OsakaMetro) をご利用の場合

梅田・本町・なんば方面からは、OsakaMetro中央線(本町駅)から「コスモスクエア駅」でニュートラムに乗り換え、「トレードセンター前駅」下車(本町駅から約20分)。改札から ATC ITM 棟2階まで直結、徒歩3分。  
車をご利用の場合  
阪神高速湾岸線 神戸・大阪市内方面からは「南港北出口」、堺方面からは「南港南出口」より約5分。一般道の場合は、中央大通から大阪港咲洲トンネルを通過してください。  
※ 駐車場・ITM 棟にある「第1 駐車場(有料)」をご利用ください。

バスをご利用の場合

南海バスが堺東駅・堺駅~ATC 間を結ぶ「南港線」を運行。  
神姫バスが神戸三宮~ATC 間を結ぶ直行バスを運行。



舞洲プロジェクトは、大阪港の舞洲スポーツアイランド地区を拠点に活動する大阪エヴェッサ(Bリーグ)、オリックス・バファローズ(プロ野球)、セレッソ大阪(Jリーグ)のプロスポーツチームと大阪府が新しいスポーツの楽しみ方を発信し、スポーツをもっと日常に、そして地元のスポーツチームをもっと身近に感じていただける活動、イベントを展開するものです。舞洲スポーツ施設での実証実験についても舞洲プロジェクトの一環として実施するものです。

AIDOR  
EXPERIMENTATION

Let's Challenge! 5G | デジタルヘルス | スマートシティ | IoT | カーボンニュートラル

# 未来社会の実証実験場大阪咲洲で 実証実験

複合商業施設 ATC を拠点とした大阪・咲洲エリアを中心に、大阪府内での IoT・ロボットなどを活用した製品・サービスの実証実験をサポートしています。

実証実験中

# バ空今 イ飛度 クぶは ?

咲洲エリア

- ATC (アジア太平洋トレードセンター)
- 5G X LAB OSAKA (TEQS内)

舞洲エリア

- セレッソスポーツパーク舞洲
- おおきにアリーナ舞洲
- 杉本商事パフファローズスタジアム舞洲
- 大阪シティ信用金庫スタジアム

詳細・エントリーは...  
<https://teqs.jp/experimentation>



# 実証実験事例の紹介

いままでに咲洲エリアや舞洲エリアなどで実施した実証実験事例を紹介します。

CASE 01

株式会社空間コンピューティング研究所

## ARガイドアプリによる 屋外環境における一般来園者の アプリ受容性と、行動変容の検証

ユーザーのスマートフォンの位置情報とカメラがとらえた物体を認識し、目的地へのルート案内やARコンテンツを表示するARナビゲーションアプリの検証。ATCで来館者案内の実証実験を実施したほか、天王寺動物園では一般来園者向けの実証実験を実施。



検証内容

天王寺動物園では、トラ舎前にARコンテンツを配置し、専用アプリを通じてトラの多様な情報を配信。来園者のスムーズなAR体験と表示した情報による行動変容について検証。

CASE 02

Utsubo 株式会社

## インタラクティブ・インスタレーション における体験価値と SNS 発信効果の実証実験

水や雲といった流れるものの動きをコンピュータで正確に再現する技術を使用した体験型コンテンツをリアルなサービス現場で検証し、技術の確立や体験価値向上につなげられるかの実証実験を実施。



検証内容

グランドプリンスホテル大阪ベイにて、葛飾北斎の「神奈川沖浪裏」を題材にした没入型コンテンツの体験を実施。宿泊者などゲストを対象に満足度の向上などを検証。

CASE 03

メトロウェザー株式会社

## 小型スキャニング型 ドップラー・ライダーを用いた 3次元風況計測

ATC屋上に設置した風況観測機「小型スキャニング型「ドップラー・ライダー」」で、大阪・関西万博会場上空エリアの風向風速データの計測を実施。また、大阪市内の他所に設置した観測機で得られた同一エリアのデータと合成することで、エリア内の風向・風速を3次元データ化し、その有効性の検証を行った。



検証内容

他所に設置した観測機で得られた同一エリアのデータと合成した3次元の風向風速データ有効性の検証。

CASE 04

ロボット審判

## アマチュア野球の “審判問題”に挑戦！ ロボット審判の実証実験

アマチュア野球の審判員・人員不足という課題に対し、3D画像とAIを組み合わせて投球軌道の即時解析と判定を行う「ロボット審判」。GOSANDO 南港野球場での紅白戦で、捕手後方の審判位置に設置し、判定精度の検証や実用性の確認を実施。



検証内容

判定精度と設置の簡便性が異なる2種類のロボット審判を用いて、判定の信頼性や判定速度、実環境および低照度環境下での安定性の検証。

CASE 05

中之島ロボットチャレンジ

## 実環境における 自律移動ゴミ回収ロボットの 実証実験

ATCの屋内外で自律移動ロボットのコースを設定し、普通に人が往来する中、自律移動ロボットが安全に行動できるかを検証。また、ゴミ判定エリアを設定してゴミの分別判定や、あらかじめ設置したゴミを回収できるかなどを検証する実証実験を実施。



検証内容

設定したコースを人の手を借りずに自動で走行できるかやコース上で人との安全距離を保つように停止、回避行動ができるかなどを検証。

CASE 06

株式会社 Red Dot Drone Japan

## 5G通信を活用した空撮による スポーツ支援プラットフォーム 「スカイコーチ」の検証

セレッソ大阪が運営する育成チームの練習試合において、試合の様子をドローンで上空から撮影し、5G通信を使って撮影データの伝送検証や撮影映像を用いた試合解析の検証を実施。



検証内容

グラウンド内での飛行の安全性の確認を手動操縦で行うとともに、練習試合の撮影及び解析の有効性の検証。

CASE 07

有限会社ライトプラン

## 雨や災害時における夜間LEDの 不点灯の解決を目指す！ ソーラー光循環街灯の実証実験

天候不順による発電不足という太陽光街灯の課題に対し、自らの点灯光で再発電する「光循環型システム」の有効性をはかるため、ATC内の日照条件が異なる2箇所に機器を設置し、夜間の継続点灯性能や、パネル角度・蓄電容量の違いによる運用効率への影響を検証。



検証内容

天候に左右されないLED灯の長期間夜間点灯の確認や、長期間点灯を続けるためのバッテリー容量の検証、太陽光パネルの最適な角度の検証。

## 実証実験実施の流れ

エントリーシート提出

※ ホームページよりダウンロード

事務局との面談

実証実験申請書の作成と提出

事務局による申請書の内容確認・  
フィールド等の使用確認

倫理審査委員会による審査<sup>(※)</sup>

申請書受理後、実験実施に向けた  
フィールド等の調整

実証実験の実施

報告書の提出

※ 実験内容により、被験者の安全性を確保するための倫理審査委員会を実施します。